

“タマノイノコ”に見る風景の予感

～「ガチャ万」の呪縛を解く～

(紙芝居／インスタグラフ版)



- プロローグ：見慣れた風景が、“ノコギリヤネのある風景”に
- 「玉ノ井散策」を追体験する
- 20XX年の風景：“フォリー”としての“織壁”
- “ノコギリヤネのある風景”～「ガチャ万」の呪縛？
- “のこぎりゼロ”と“のこぎり三”
- 「玉ノ井・タウンキュレーション」
- エピローグ：新世界への入り口

今枝 忠彦（自称ノコギリアン／一宮市今伊勢町出身／神奈川県藤沢市在住）

○プロローグ：見慣れた風景が、“ノコギリヤネのある風景”に

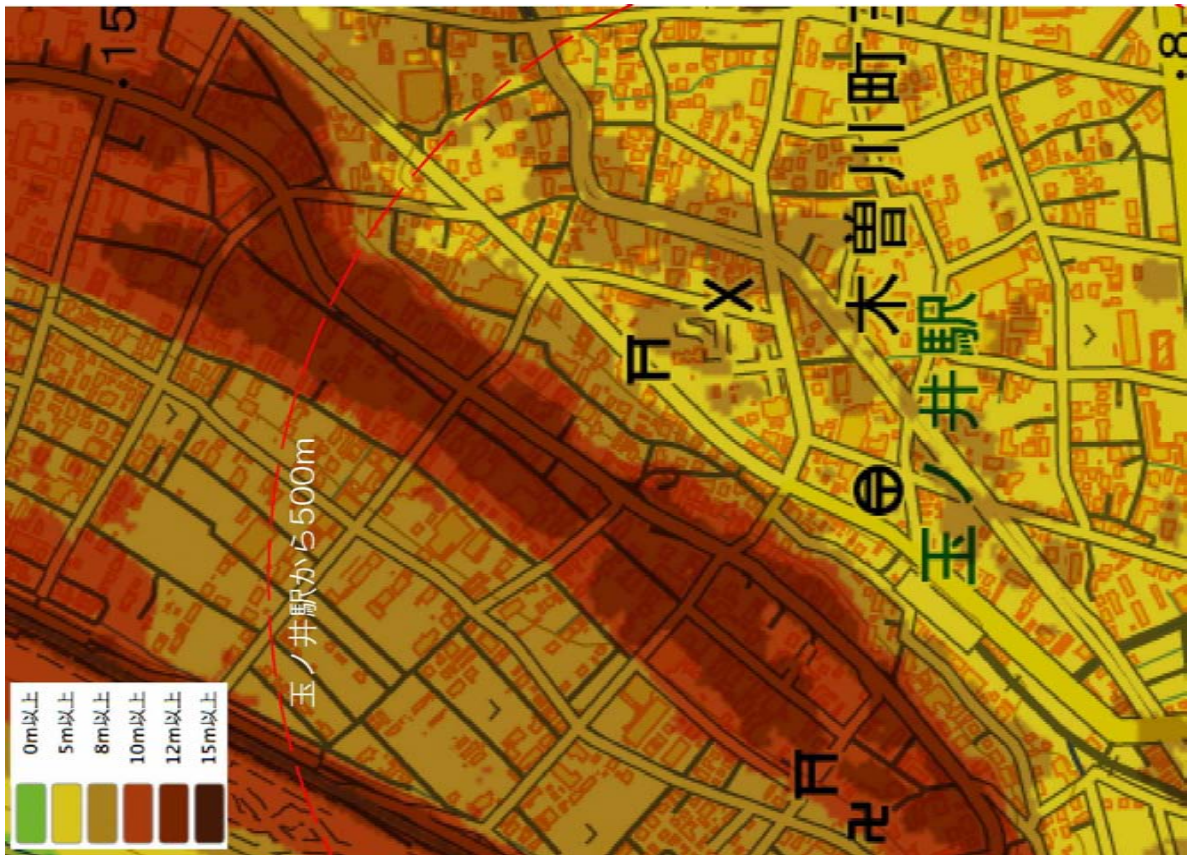


▲見慣れた風景 2017



▲“ノコギリヤネのある風景”2019

●「玉ノ井散策」を追体験する



▲玉ノ井駅周辺の標高図（「地理院地図」を加工）



▲第8回のこ座「玉ノ井散策」マップ



トナリ（隣）のノコ



▲タマノイノコ「あっ！」とランダム

●20XX 年の風景：“フォリー”としての“織壁”

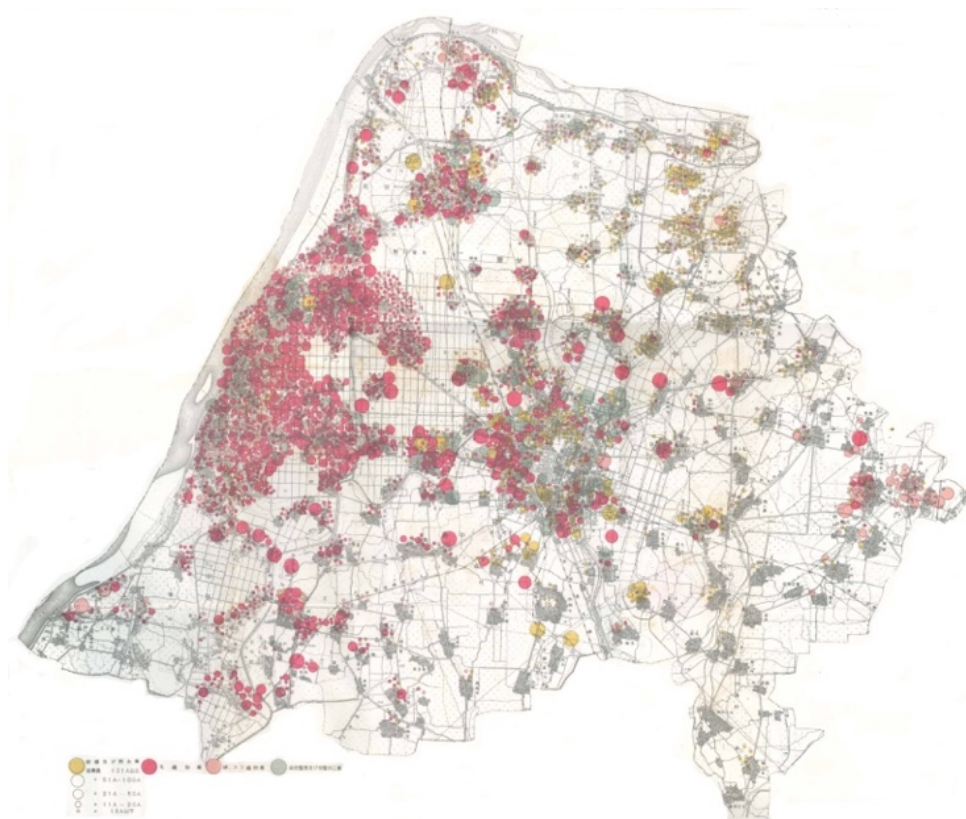


▲玉ノ井インスタ・ウォール（うつつ？）



▲玉ノ井インスタ・ウォール（ゆめ？）

●“ノコギリヤネのある風景”～「ガチャ万」の呪縛？



▲昭和 30（1955）年の一宮市の繊維工場分布図（一宮市調査報告、1958 年）



▲ノコギリヤネ分布図（尾張のこぎり調査団、2010 年、南側は未調査）

●“のこぎりゼロ”と“のこぎり三”



鋸型屋根の毛織物工場群 愛知県一宮市 1977.10.1.

▲のこぎり一



▲のこぎり二

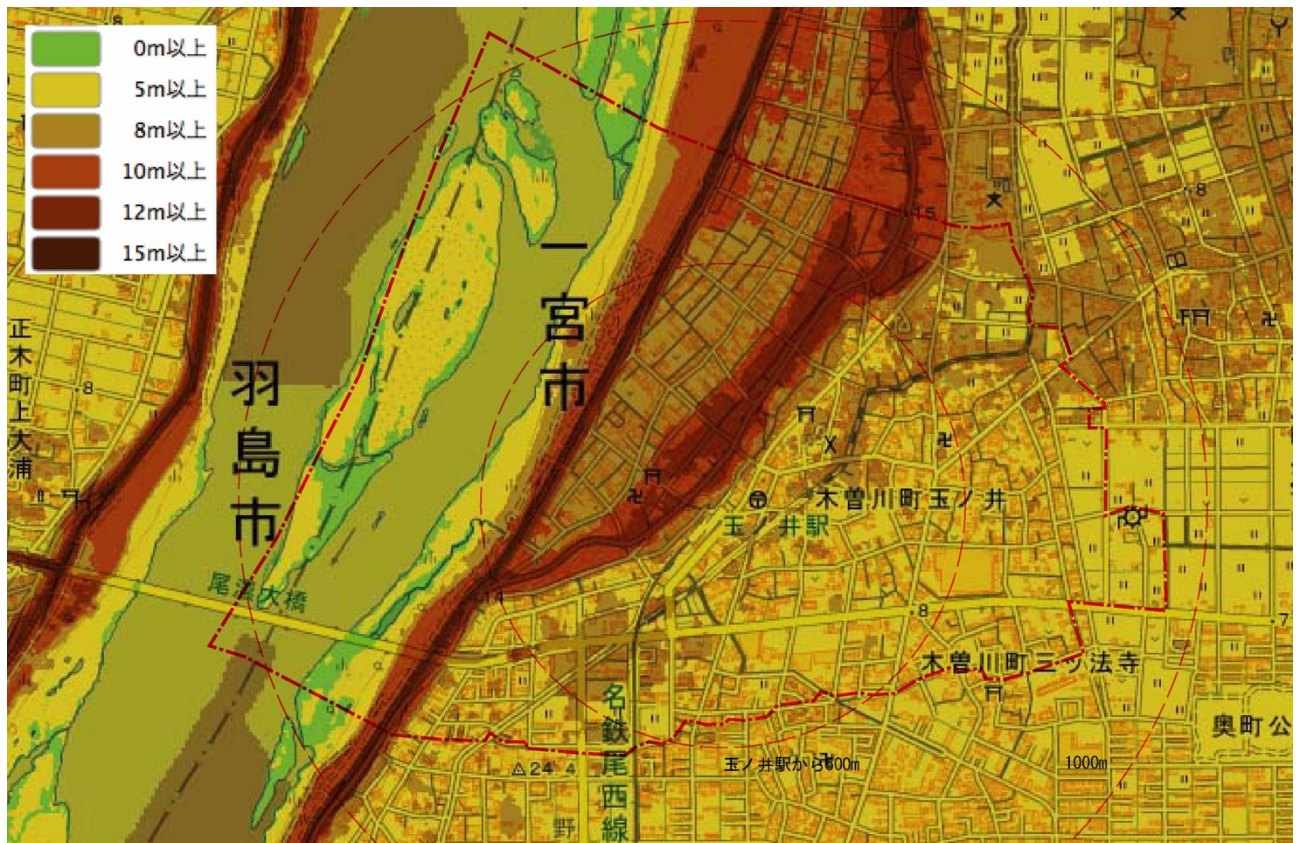


▲のこぎりゼロ？

●「玉ノ井・タウンキュレーション」

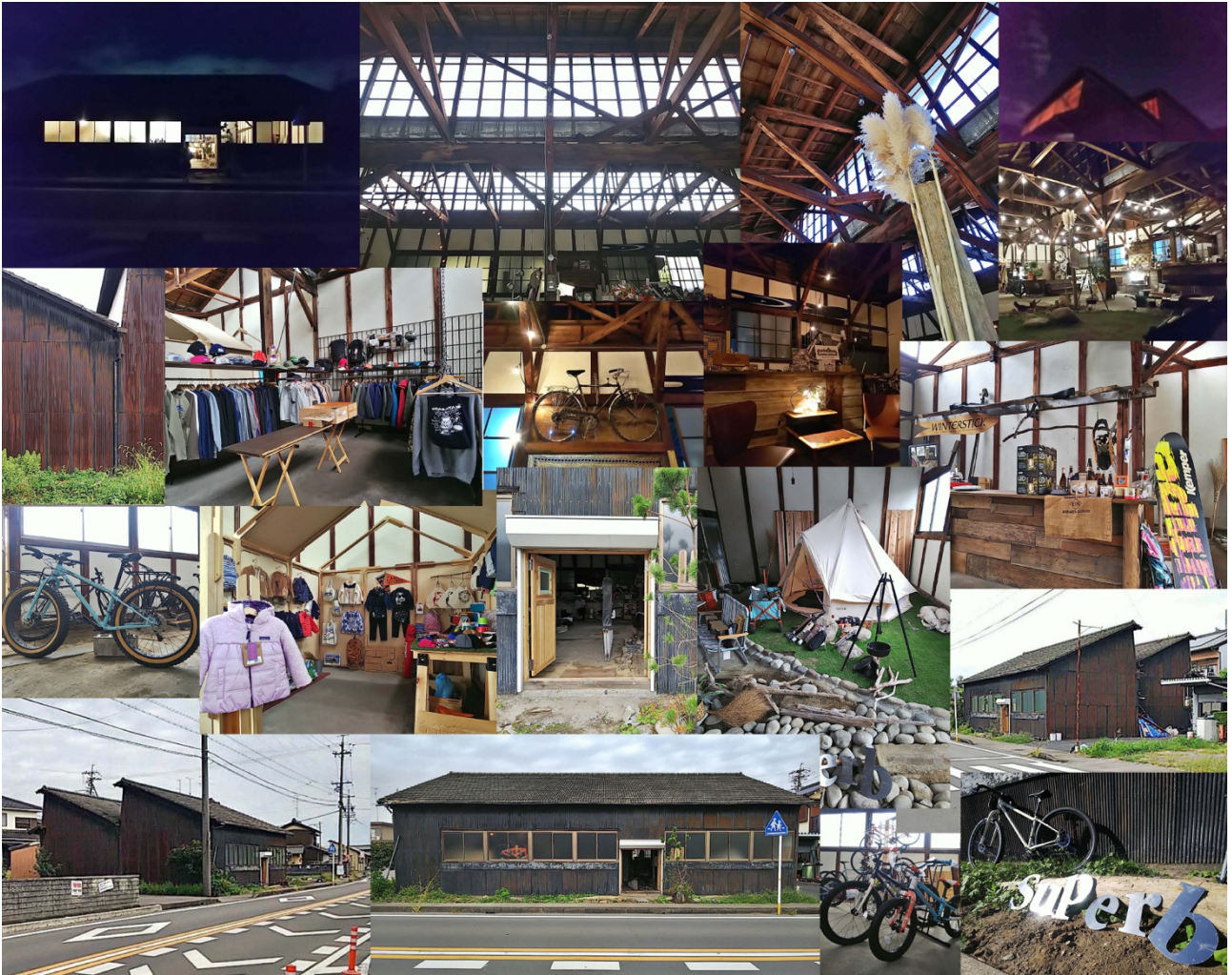


▲玉ノ井地区のノコギリヤネ分布

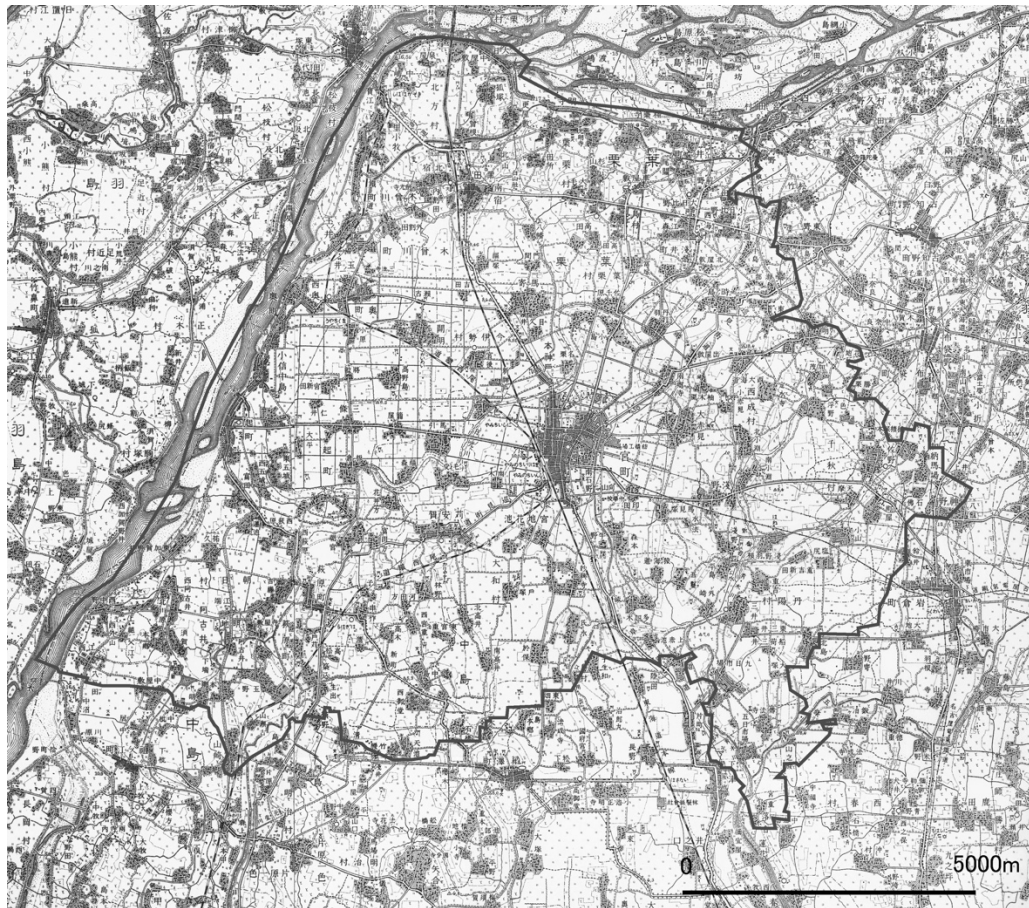


▲玉ノ井地区の標高図（「地理院地図」を加工）

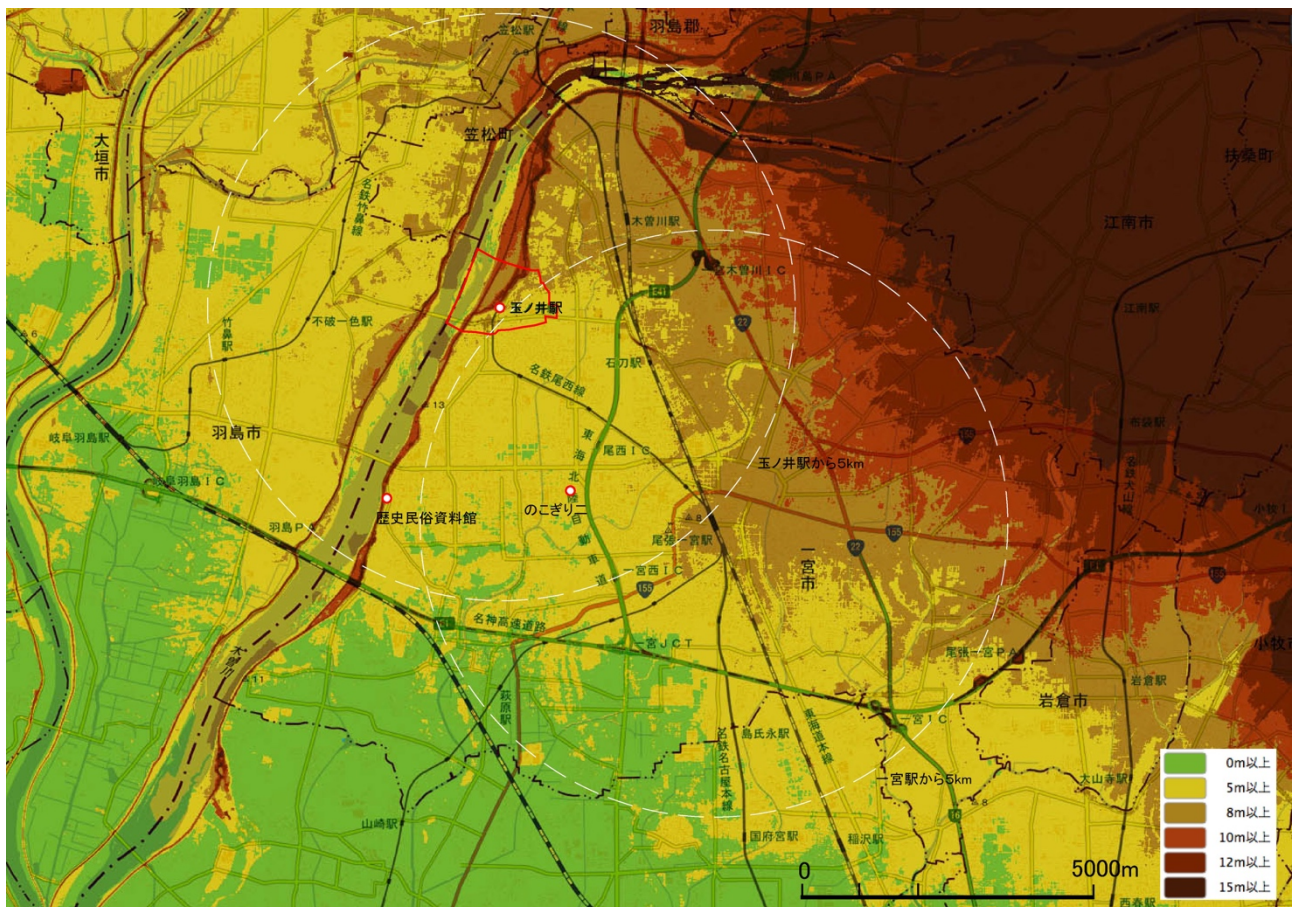
○エピローグ：新世界への入り口



▲Superb mandara



▲約 100 年前（1920 年頃）の一宮市周辺



▲一宮市周辺の標高図（地理院地図を加工）